

市画
都計

武蔵引田駅北口土地区画 整理事業及び周辺について



堀江 武史

事業地区内の農地の固定資産税について、平成28年度から原則、宅地並み課税となった。急激な税額の上昇を緩和するため、税法上5年間で段階的に増額する措置は設けられているものの、負担が大きいいという声が寄せられている。更なる軽減措置の可能性について検討することであった。駅周辺では他の事業も進行している。

AQ

軽減措置の検討状況は。有効な土地利用ができるまでには、まだ年数を要する。現在、具体的な方策を取りまとめているところである。



AQ

富士通跡地の状況は。現所有者である大和ハウス工業株式会社から、建築物の除却及び土壌調査を30年3月までに完了したいとの報告を受けている。大和ハウス工業と医療系の企業間での土地売買契約が成立したことを確認している。

AQ

介護老人保健施設の状況は。スケジュール通りに進み、建設工事は30年1月に完了し4月に開設予定である。

Q

阿伎留医療センター敷地内病児病後児保育室の状況は。30年1月末には完了の予定である。今後3市町村が連携を密にし、事業委託計画や条例の制定等に取り組む。

A

他に災害復旧工事の現状について質問した。

他に災害復旧工事の現状について質問した。

政策

公用地の有効活用 について



中嶋 博幸

Q

御堂中学校そばの残土が積み上げられた通称「平成新山」も、活用希望企業があるならば残土を処分し利活用すべきでは。

A

残土の処理費には約2億4000万円を見込んでいる。企業の取得の前提条件など意向確認が非常に重要であり、現在、希望者との協議を進めている。

A

を参考に、市も協力して前向きに進めるべきでは。武蔵五日市駅周辺にとつて必要なビジョンを受けた際には、市として率先して進めたいと考えている。

Q

旧秋川高校跡地への企業誘致に向けた進捗状況と目標時期は。

A

今秋の育樹祭が終了した段階で都有地の処分や都市計画の変更等に着手できるよう、民間の提案を活かしつつ、東京都に産業系土地利用への転換を要請していく。

Q

小川地区の「し尿処理場」が新施設になると4500坪の土地が余る。この地区には既に公園等も十分あるため、企業誘致すべきでは。今後、構成市町村及び西秋川衛生組合と協議を進めたい。

A

武蔵五日市駅前のバス車庫を含めた市有地の利活用を、五日市活性化戦略委員会が地域の声を聞きながら検討しているが、その青写真等

Q

武蔵五日市駅前のバス車庫を含めた市有地の利活用を、五日市活性化戦略委員会が地域の声を聞きながら検討しているが、その青写真等

